

J A庄内たがわ総代会 住宅ローン不祥事で責任問う



J A庄内たがわ第27回通常総代会が23日、新余目支所2階ホールで開かれました。

総代からは、「住宅ローンに係る信用事業の不祥事」について、役員員の責任を問う質問が出されました。

職員の不祥原因

加藤鉦一総代は、次のように質問しました。

「農協の被害金額は1296万1285円で、貸倒引当金として確定とのこと。

貸倒引当金は本来、相手の返済不能等による信用リスクに備えて、不良債権処理を先送りしないための会計処理だ。

今回の場合は、農協の職員が勝手に住宅ローンの抵当権を解除し、住宅が第3者に売買されたこと、債務者の残高証明書が発行されないようにしたことなど、極めて悪質な不祥事だ。信用リスクが原因で

はなく、農協職員の不正が原因であり、農協の役員が責任を負うべき問題ではなかったか。

元職員は、合併農協が始まって以来の懲戒解雇処分としたが、19日投票の庄内町議選に立候補し、2位で高位当選した。

地方公務員であれば、地方公務員法第16条3の『当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者』は、公務員にならない。

自治体の議員は、特別職に属する地方公務員である。

庄内町議会議員政治倫理条例は、法令はもとより政治倫理の遵守が求められており、立候補すること自体、不正を働いたという自覚が欠如している。」

背任行為で 刑事罰に相当

菅原勝専務は、「時効は迎えているが、背任行為で刑事罰に相当する重い案件だ。

役員の実任と処分は、全容を解明し県に対する報告の後に行う。債務者から返済があ

れば、引当金から戻し入れになる。」と答えた。

菅原幸貞総代からは、「役員が総辞職し、責任をとるべきだ」という意見も出されました。

7年前の事件当時、上司だった元藤島支所長で現常務理事の齋藤学氏が28日、責任をとる形で辞職届を提出しました。

むしろ、事件当事者で、議員に当選した奥山康宏氏こそ、公人としての責任が問われます。

事業採算性に問題

加藤総代は、うめ農マルシェと、福祉介護の事業採算性についても質問しました。

小林警常務は、「うめ農マルシェは、人件費などを加味すれば事業採算性は問題がある。

少量多品目をどう有利販売するかでスタートしたが、施設の契約が来々4月で更新になるので、事業継続について検討している。

福祉介護事業は、コロナ禍で休業もあつたが、通常業務となり、通所介護が定員を満たせば採算は戻ると考えている。」と答えました。

村の四季⑦

鈴木重雄（八色木）

■教室の温飯器

私が小学校2、3年生の頃まで。教室の暖房は火鉢であった。

1坪4方位の四角い火鉢に、木炭を小山のように積み上げ、トドマ（用務員）が、長い鍋づるのついた鉄鍋に、赤く燃えた火種を入れて、各教室を廻っていた。

各教室に1つ（大きい教室は2つ）の火鉢で、後ろの席が温まるまで時間がかかった。先生は後ろの列の生徒を火鉢の周りに交替で暖をとらせてくれる。トドマは途中木炭を補充してくれた。

やがて石炭ストーブに変わったので、教室中に暖房が行き渡るようになった。先生が授業しながら石炭を補給する。温飯器も煙突の子熱を利用したものに変わられた。

昼近くになると、子どもたちは1坪四角のトタンで囲った4本脚の櫓のような温飯器に、みんなの弁当をのせる。2段重ねの温飯器に順序よく整然と並べる。間もなく教室全体がなんとも言えない匂いが漂う。おにぎりに味噌をつけ、体菜漬の葉っぱで包んだ匂いや、大根漬の匂いなどをかきながらの勉強である。

昼食とき自分の弁当がわからなくなつて、おにぎりを割って確かめたりしていた。それでもみんなと一緒に食べるだけで楽しかった。たしか私たち4年生（昭和12年）になると、

石炭を燃やすダルマストーブに変わり、温飯器もストーブの側に取り付けるものになり、教室全体が暖かくなった。

私たち4年生担任の先生は、清川から通勤の加藤兵衛先生（静代と改名で、授業は厳しい先生で、青竹でつくった教鞭で打たれることもあったが、心は優しい先生であった。教鞭がこわれると、教鞭に世話になった子どもに作ってくるように言っていた。それでも子どもは喜んで、前より立派なものを持ってくる。

先生は、吹雪の日は学校に泊まっていたので、放課後、先生とストーブを囲んで遊んだ。本を読んでくれたり、煙草を買ってくださるよう頼まれたりした。先生が駄賃をくれるのが嬉しかった。当時はゴールデンバット1箱9銭で、1銭が駄賃である。

同級生に肉屋のヒロジ君がいて、家から馬肉を持ってきてストーブで焼くこともあったが、先生は怒らなかつた。

石油ストーブが入つたのは昭和30年代後半だと思ふ。昭和35年に八栄島小学校に給食室が完成し、脱脂粉乳が給与され、週5回の完全給食が開始された。私の子どもの頃は弁当を持ってない子もいたが、学校給食はその貧しさからの解放だった。

軍事費2倍を止めるのは 日本共産党の躍進こそ

自民党などが主張する大軍拡―現状でも国防費は、NATO定義で恩給費や海上保安庁予算を含めると、日本は614億ドル（6・9兆円、GDP比1・24％）にもなり、世界で5位です。

自民党は5年以内に、GDP比2％以上に増やすとしています。

その水準は11・2兆円となり、世界第3位の軍事大国になります。

財源はどうするのか。これまででは、中小企業対策費とエネルギー対策費、食料安定供給関係費を削減して充ててきたと言います。

財務省は、国債（借金）で賄えば「我が国の脆弱性になりかねない」と警告しています。そうなれば、消費税の大増税か、教育・福祉・社会保障予算の大削減しかありません。大軍拡を止めるのは日本共産党の躍進です。

ひと

日下部勇一（庄内町榎島）

波瀾（乱）万丈の人生

青山 崇

■きびしく、当選は 勇一議員のみ

この頃の選挙ポスターは、公営掲示板はなく、1軒1軒にお願いし、理解をえて貼らせてもらったのであった。

演説会は大成功したものの、まだ共産党への誤解が強く、「共産党ポスターはダメだ」「勇一は良いが共産党は嫌い。」「候補者の車で共産党と言わないでくれ。」などの共産党批判の声が多く、それを乗り越えられなかった。当選は勇一1人で、それも26人定員中、最

下位当選者は得票355票で1票差であった。

斎藤長良候補は201票で落選という厳しい結果だった。

「アカ・共産党は」という差別が色濃く漂っているのである。

勇一町議は、当選後は前期以上に、町民の要求実現と町政刷新で、議会内外で走り廻った。まず、町政刷新では、公費での飲み食いを止めさせた。慣例で議会が終わると懇親会が開かれ、会費1500円で、後は公費4万5000円の支出だったのである。当議会後は行

われなかったが、今は3000円の会費制で行われている。

住民要求では国保税の軽減である。国保税は庄内12市町村で3番に高く、一般会計からの支出も、近隣の藤島町は550万円・羽黒町は500万円だが、余目町は300万しか支出していないと糺した。

次いで町はインフレ不況で、町民生活、経営も深刻で、1億2800万円が歳入不足の中で、電柱占用料を電

力会社等から徴収する提案に対し、町は検討すると答弁した。

なお、仙台市800円、米沢市260円、鶴岡市210円、酒田市200円で、余目町は無料であった。電柱の数4079本である。最低の酒田市を例に計算すると815万円になる。なお、現在はどうなっているか。土地使用料といい、田が一番で年間1870円、宅地1500円、安いの山林で215円である。

きびちよ

軍事費増強は反対

ナチを語りウクライナに攻め込んだプーチンの話を、ロシア国民はどれ位が信じているんだろうか。絶対に許せない侵略戦争は、一向に終わる気配がない。

▲ウラジミールさんと27回もお食事をなさったと言う安倍晋三さん。「君は国連憲章に違反した事をしているんだから、直ちにウクライナから手を引けや」と言うべきところ、日

本も核の共有とか軍備の増強をと声高たぜ。▲こんな考えの人が長い期間、日本の首相をやっていたんだ。その間、アメリカと一緒に戦争が出来る戦争法に秘密保護法の制定。トランプには爆撃機40機の衝動買いも。アベノ時代の不幸は岸田により続行中という処。

▲核の使用まで口にするプーチンを見て共産

党以外の政党は、軍備増強の大合唱だ。岸田首相は外国に行つて、軍事費の2倍化を発表しているから、それを聞いた国では危険を感じ、同じように構えるだろうから。いわゆる軍事対軍事の競争になるわけヨ。そうならないうように、平和外交が大事なんだが。

▲防衛費と称する軍事費は、毎年最高を更新し続けてきたんだが、5年で倍にするんだとか。高齢者の俺たち医療費がもうすぐ倍になるんだが、その内何倍化もあるかも。消費税だつてこのままでいくか？子会社でお札ガバガバ刷るんだかネ。煙草も狙われるゾ。

▲軍事費が巨大化するのに反対し、憲法9条を守れ・平和外交をと言っているのは共産党だけじゃないの。戦争から遠ざかるには、選挙で共産党を延ばさなきゃ・ね。（石川）

